

## 申豊国際学院の自己点検・評価表

1. 認定日本語機関の目的及び目標の達成状況に関すること	A	B	C
1-1 教育理念  日本語教育を通じ、協動的に学び異文化理解することにより、コミュニケーション能力を育むとともに、国際外交及び国際貢献を図ることを理念としている。			
1-2 教育目標  我が国の大学、高等専門学校又は専修学校の専門課程等に進学させることを主な目標としている。			
1-3 教育理念、教育目標が社会の要請に合致しているか。			
2. 教員及び職員の組織運営に関すること	A	B	C
2-1 運営方針を教職員に周知し、習熟させ、それに向けて教職員はつとめている。			
2-2 学則及び就業規則等を制定し、また関係法令等を遵守し、運営している。			
2-3 意思決定に関し、組織的に行い、効率的に運営している。			
2-4 官公庁等を含め、外部からの情報収集を効率的に行い、かつ共有化を努め、効率的に運営している。			
2-5 教育目標達成のため、教員の資質向上を図る観点から、定期的に研修を行い、資質の向上に努めている。			
2-6 教員及び職員に雇用条件を交付し、その条件等に基づき運営しているため、教職員は良好な勤務環境としている。			
2-7 教職員には校長から、学校運営について校長から随時説明し、周知し、資質の向上に努めている。			
2-8 教育機関としての信頼を高める、教職員に倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等について、校長から注意喚起し、良好な勤務環境に勤めている。			
2-9 教員及び職員の評価については、校長が所属の責任者から聴取し、公正・適切に行っている。			
3. 施設及び設備に関すること	A	B	C
3-1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な遮音性を確保し、効果的な教育環境に努め、また、事務室についても照度等に配慮事務所とし、明るい雰囲気となっている。特に、事務室の窓口はオープンとし、生徒や外来者に配慮した施設としている。			
3-2 授業時間外に自習できるよう、図書室及び教室を開放し、生徒の勉学意欲の向上を図っている。			
3-3 図書やモニターなどの機器を設け、随時利用に供し、生徒の勉学支援に寄与している。			
3-4 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備し、随時利用でき、生徒の勉学支援に努めている。			
3-5 教室及び事務室には、それぞれ執務に必要なスペースを確保し、業務の効率化に努めている。			
3-6 同時に授業を受ける生徒数に応じたトイレを設置し、生徒の不便解消を図っている。			
3-7 建築基準及び電気器具等については、安全面に配慮した設備とし、安心・安全な施設としている。			
3-8 廊下、階段等は、緊急時には支障のないスペースとし、生徒の安全な施設に努めている。			
3-9 生徒及び職員がスムーズに移動できるよう教室及び事務室内は、バリアフリーにし、不便解消の施設としている。			